

# 東北森林管理局

## 指導普及課だより

号 外 (特集号)

発行日 平成 25 年 2 月 27 日

郵便番号 010-8550

電話番号 050-3160-6456

住 所 秋田市中通5丁目9-16

### 平成24年度

### 東北森林管理局 森林・林業技術交流発表会を開催！

平成24年度東北森林管理局森林・林業技術交流発表会を2月6日(水)～7日(木)の両日、局大会議室で開催しました。

この発表会は、森林・林業・木材産業の活性化を推進するための情報提供・意見交換を行い、関係者の技術の普及・向上、さらには交流の推進を目的として毎年開催しているものです。昭和20年代から続いているもので、当時は業務研究発表会と称し国有林野事業職員の発表が中心でしたが、今では管内の県や市町村、企業、大学、高校、中学等からの発表もある幅広い交流の場となっています。

今年度の発表会は、『一般の部』である「森林技術部門」に16課題、「森林ふれあい部門」に6課題、平成22年度から新設された「国民の森林部門」に10課題、『中学・高校の部』に4課題、計36課題の発表がありました。

開会に先立ち矢部局長から、65年間の特別会計が終わり新年度からは一般会計制度のもとで国有林が民有林行政に、より一層貢献をしなければならない中、この発表会の成果は大変意義のあるものであるとの挨拶がありました。次いで来賓を代表して岩手県林業技術センター所長の伊藤様からご挨拶をいただきました。



矢部局長の挨拶



来賓の岩手県林業技術センター伊藤所長様

発表を始める前に、昨年11月20日に林野庁で開催された国有林野事業業務研究発表会の受賞伝達式が行われ、森林技術部門で「Google Earth を利用した衛星画像表示に特化した簡易GISの開発」で日本森林技術協会理事長賞を受賞された三陸中部森林管理署の石橋史朗さん、森林ふれあい部門で「白神山地周辺の自然再生を目指して～ボランティアとともに未来の広葉樹の森林（もり）へ～」で日本林政ジャーナリストの会会長賞を受賞された津軽白神森林環境保全ふれあいセンターの山上裕行さん、川村幸春さんが賞状を授与されました。



伝達表彰を受ける三陸中部署の石橋史朗さん



伝達表彰を受ける津軽白神森林環境保全ふれあいセンター山上裕行さん（中央）・川村幸春さん（右）

## 発表（一般の部、中学・高校の部）

『一般の部』の「森林技術部門」では、低コスト施業に関するもの、複層林・針広混交林への誘導のための施業技術や生物多様性の保全を目的とした列状間伐の効果など森林施業に関するものが半数ありました。そのほかには、クマハギ被害の防止対策、マツノザイセンチュウの樹体内分布を研究した課題など森林の保護に関するもの、森林作業道・治山事業に関するもの、収穫業務におけるスマートフォンの利用など多様な研究がありました。

「森林ふれあい部門」では、自然観察プログラムの作成、それぞれの地域における地元の一般住民との交流を通じた森づくり、関係者の連携による地域振興の取り組みなど、地域一体となって森林を作っていくという活動が報告されました。

「国民の森林部門」では、海岸防災林に対する取り組みが2課題あったほか、各地における森づくり、それらの森林を守っていく取り組み、震災被害の復興支援についての取り組みの報告がありました。

『中学・高校の部』では4校から発表がありました。岩手県立盛岡農業高校は、平成9年度の発表会以来、毎年参加されており、今年度は先輩が行ってきたペットボトルによる苗木づくりの研究を引き継ぐとともにさらに工夫を重ねた森づくりの取り組みを発表されました。青森県立五所川原農林高等学校は、平成11年度以来毎年発表されており、今年度はごみの減量やリサイクルに向けた取り組みを発表されました。秋田県立大曲農業高等学校は、外国産ではなく秋田県産の培地を使ったきのこづくりの取り組みを、山形県立村山農業高校は、希少生物についての調査結果を行政や地域の協議会に提案したという発表でした。

## 特別発表

特別発表では、「低コスト再生林の技術と東北の課題」（森林総合研究所東北支所）、「東日本大震災における東北森林管理局の対応」（東北森林管理局）の2題が発表されました。

## 審査結果

『一般の部』「森林技術部門」の最優秀賞は、「北上高地のイヌワシと生物多様性の保全を目的とした等高線方向列状間伐の効果」を発表した三陸中部森林管理署の盛一樹さんが受賞されました。

これは、生息数が減少しているイヌワシの習性を考慮した等高線方向に伐る列状間伐を実施し、3年間にわたり施業地の採餌場としての有効性を検証したものです。



森林技術部門で最優秀賞を受賞した三陸中部署の盛一樹さん

「森林ふれあい部門」は、地域活性化を目的として設立された「上小阿仁若者会議」に参加し、ワークショップ形式を取り入れた共同作業等により地域との関わりを深めた活動を報告した米代東部森林管理署上小阿仁支署の佐々木嵩史さんの「地域の若者と国有林を結ぶ取組」が受賞しました。

「国民の森林部門」では東北地方太平洋沖地震の津波被害を受けた海岸林のアカマツ、クロマツ材の利活用を図るため、仙台市やメーカー等と連携し「仙台復興合板」として商品化した活動を報告された宮城県仙台地方振興事務所の今野勝紀さんと戸島康人さんの「仙台復興合板への取組について」が受賞しました。

また、宮城県七ヶ宿町で木を積極的に使った様々な活動を展開している特定非営利活動法人「水守の郷七ヶ宿」の海藤節生さんの「木づかい森づかいから始める水づくり」が東北森林管理局林政記者クラブ賞を受賞しました。

『中学・高校の部』では、産・官・学連携による新商品の開発を目指して～オール秋田でおいしいきのこづくりへの挑戦～を発表した秋田県立大曲農業高等学校が優秀賞を受賞しました。きのこ菌床栽培の培地に外国産ではなく秋田県産の米糠や規格外大豆などを使ったきのこづくりの取り組みで、地域資源の有効利用がより一層進むことが期待される研究でした。



森林ふれあい部門で最優秀賞を受賞した上小阿仁支署の佐々木嵩史さん



国民の森林部門で最優秀賞を受賞した宮城県仙台地方振興事務所の今野勝紀さん



東北森林管理局林政記者クラブ賞を受賞した水守の郷七ヶ宿の海藤節生さん



中学・高校の部で優秀賞を受賞した秋田県立大曲農業高等学校の発表



最後に審査委員長から全体の講評をいただきました。その中で、森林・林業技術は非常に奥が深く、またフィールドでの実践が欠かせないという特殊な側面を持つので、フィールドでの実践の成果をまとめ技術を向上させていくための動機付けとして、研究発表は非常に重要であると述べられました。

森林・林業技術の発展・普及に向け、関係者の皆さまにおかれましては、今後も引き続き研究課題に取り組んでくださることを期待いたします。



講評する澤口審査委員長



平成24年度森林・林業技術交流発表会 課題名と発表者及び審査結果

発表部門	発表課題名	発表機関	発表者	審査結果			
一般の部	森林技術部門	クマハギ被害防除対策と提案型集約化施業の有機的結合について	山形県置賜総合支庁産業経済部森林整備課	小関 秀章			
		海岸クロマツ林（風の松原）における密度管理について	米代西部森林管理署	佐渡 恒幸	奨励賞		
		森林作業道の土留根株の腐朽状況	岩手大学大学院	日野 大地			
		岩手・宮城内陸地震災害復旧箇所における山腹緑化基礎工の施工方法の検討	宮城北部森林管理署	三瓶 広幸	奨励賞		
		コンテナ苗による低コスト造林の普及・定着化に向けた取組み状況について	仙台森林管理署	千葉 大輔			
		低コスト施業のための高生産性作業システム定着化・普及の取組	山形森林管理署	杉田 篤信			
		北上高地のイヌワシと生物多様性の保全を目的とした等高線方向列状間伐の効果	三陸中部森林管理署	盛 一樹	最優秀賞		
		刈払機安全ベルトの一考察	青森森林管理署	中島 彩夏	優秀賞		
		android 携帯端末を利用した収穫調査業務支援アプリケーションの開発について	下北森林管理署	照井 桂	優秀賞		
		増川ヒハ施業実験林 ～ヒハ林誘導経過～	森林技術センター	岡浦 貴富 木村 正彦			
		白神山周辺地域自然再生活動箇所の広葉樹稚樹発生状況について	津軽白神森林環境保全ふれあいセンター	三浦 利樹			
		これでいいのか複層林（施業編）	秋田森林管理署	中川 恭兵			
		ブナ天然下種更新における保育効果等の検証	米代東部森林管理署	濱田 眞智子			
		生産・販売事業における需要動向に対応した採材の取組	岩手南部森林管理署 遠野支署	菊原 嘉晃			
		マネジメントによる森林・林業再生プランの推進	青森県東青地域県民局地域農林水産部 林業振興課	吉岡 昭浩			
		マツ成木におけるマツノザイセンチュウの樹体内分布－病徴発症初期における効率的な検出のために－	秋田県立大学	中林 優季	奨励賞		
		一般の部	森林ふれあい部門	平泉古事の森の取組について	岩手南部森林管理署	平川 春樹	
				木づかい森づかいから始める水づくり	特定非営利活動法人 水守の郷七ヶ宿	海藤 節生	林政記者クラブ賞
『あすなろ自遊モリ森』の取組について	津軽森林管理署 金木支署			斎藤 健治 金澤 裕子			
地域の若者と国有林を結び取組	米代東部森林管理署 上小阿仁支署			佐々木 嵩史	最優秀賞		
白神山における新たな森林ふれあい活動の取組み	藤里森林センター			阿部 耕士 鈴木 貴幸			
鳥海山麓桑の木台湿原における自然観察プログラムの作成	秋田県立大学			佐藤 都子 齋藤 千尋	奨励賞		
国民の森林部門	国民の森林部門			木材関係者の連携による地域産業振興へ向けた取組～准フォレスター活動：五城目町の事例～	秋田県秋田地域振興局農林部森づくり推進課	真崎 博之	
				海岸防災林復旧事業の取組み	仙台森林管理署	澤口 晴彦 寺田 優希子	
				粘り強い海岸防災林の整備について	三八上北森林管理署	熊谷 優	
				当署における民国連携について	青森森林管理署	今 純一	
		仙台復興合板への取組について	宮城県仙台地方振興事務所林業振興部 林業振興班	今野 勝紀 戸島 康人	最優秀賞		
		国民視点を意識した森林づくりの連携	岩手北部森林管理署	小西 光次			
		クマタカ等希少猛禽類の餌不足に対応した森林施業について	三陸北部森林管理署	三浦 友敬	優秀賞		
		100年生ケヤキ人工林の現況について	津軽森林管理署	畠山 和之			
		置賜森林管理署創立120年を迎えて	置賜森林管理署	塚越 威仁			
		東日本大震災被害沿岸部（岩手県陸前高田市・宮城県石巻市）へのカキ養殖筏用丸太の供給と養殖漁業の復興支援について	森林農地整備センター東北北海道整備局	那須野 俊 金澤 威一郎	奨励賞		
中学・高校の部	中学・高校の部	産・官・学連携による新商品の開発を目指して～オール秋田でおいしいきのこづくりへの挑戦～	秋田県立大曲農業高等学校	藤原 里穂 竹原 修一郎 高橋 真里佳	優秀賞		
		希少生物の保護を目指して～日本一の生物宝庫～	山形県立村山農業高等学校	矢作 峻人 小関 千晴	奨励賞		
		Fーもったいない活動	青森県立五所川原農林高等学校	加藤 湧真 前田 天斗 黒瀧 康諒	奨励賞		
		森をもっと身近なものに	岩手県立盛岡農業高等学校	南澤 望 佐々木 尚輝	奨励賞		
特別発表	特別発表	低コスト再造林の技術と東北の課題	（独）森林総合研究所東北支所	小谷 英司			
		東日本大震災における東北森林管理局の対応	東北森林管理局	石田 祐二			